

令和7年度 第1回江南市運動部活動の地域移行に関する検討委員会議事録

開催日時：令和7年5月9日（金）午後2時～午後3時17分

開催場所：KTX アリーナ 2F 会議室3

出席者：大勝志津穂委員、岩田正武委員、西浦達郎委員、高橋 伸委員、
山田尚代委員、櫻澤弘章委員、安藤善啓委員、岩田一洋委員、
植島禎一委員、横山史明委員 委員計10名
高田教育長 松本教育部長
事務局

欠席者：なし

傍聴者数：1名

委員長あいさつ

教育長あいさつ

議題

- （1）令和7年度江南市地域クラブ活動について
- （2）地域クラブ活動 試行実践について
- （3）地域クラブ活動の周知について

会議資料

- 資料1 令和7年度江南市地域クラブ活動について
江南市地域クラブ活動試行実施要領
江南市地域クラブ活動指導員等設置規程
- 資料2 江南市地域クラブ活動参加者募集チラシ
- 資料3 江南市の運動部活動地域展開について（お知らせ）

議事内容

議題（1）令和7年度江南市地域クラブ活動について

○事務局

資料1により説明

令和6年度の第3回検討委員会に於いて、令和8年度2学期からの運動部活動の地域展開開始に向けて、令和7年度から当面の間は、江南市が運営主体となり、地域クラブ活動の試行実践を実施していくこととそれに伴う推進計画の承認をいただいた。

今年度の試行実践を通して、これまで議論をしてきた様々な課題の検討を継続し、児童、生徒及び保護者、地域の方々への周知に努めていきたい。

市がこの事業を円滑に推進していくため、実施内容、方法及び試行実践に携わる指導者の職務等を規定した「江南市地域クラブ活動試行実施要領」及び「江南市地域クラブ活動指導員等設置規程」を策定した。

「江南市地域クラブ活動試行実施要領」では、第1条の目的に沿って試行実践を実施していくため、第2条で活動内容及び時間、第6条で受益者負担とする参加料、第9条で活動場所及び移動について規定をした。

「江南市地域クラブ活動指導員等設置規程」は、「江南市地域クラブ活動試行実施要領」に基づき、地域クラブ指導員等に関し必要な事項を、第2条で職務の内容、第3条で登録の方法、第8条で謝礼について定めた。

なお、規程の中で定めた様式にある宣誓書により、指導員等が生徒を指導するに当たり、暴力・ハラスメント等の不適切な行為を行わない旨を宣誓していただくこととしている。

内容については、4月13日に指導員等説明会を開催して、今年度指導員として登録を予定している方々への説明をした。

○委員

指導員説明会に出席して、指導員となる方は現在何人いるのか。

○事務局

本日時点で、説明会に出席していただいた中から地域指導員登録をされた方は34人、兼職兼業の教員が13名である。

○委員

地域クラブ活動での指導員と指導補助員の区別はどのように考えているのか。

○事務局

規程の中の指導補助員は大学生を想定している。

○委員長

指導員等設置規程の中の宣誓書により、暴力・ハラスメント等の不適切な行為を行わないと宣誓していただくのでよいと思うが、昨今、指導者には暴力の排除やコンプライアンスの順守について求められることが多いので、規程の中に倫理に反することはしませんというような一文を入れ込んでもよいのではないかと、思う。

○事務局

宣誓書の中に「江南市地域クラブ活動指導員等設置規程」を順守する旨の一文を入れてあるので、その内容を含めて理解していただくようにと考えている。

○委員

学校では顔が分かる先生が指導しているのだが、地域クラブ活動では、顔の分からない地域の方が指導するという点から、委員長の意見のとおり、より厳しく明確に規程した方が保護者としても安心であると思う。意見として申し上げておく。

○委員

この取り組みでは、指導員の確保が大きな問題となる。場所や保護者負担等については、徐々に理解されていくと思うが、教員がこれまでボランティアとして実施し、負担なくできてきたことが問題であるので、誰かが負担をしなければならない。

指導員として、指導時間を1日3時間程度とするとあるが、練習以外の試合への引率、用具や施設の点検、保護者への連絡に時間を費やすことが多い。このため、練習時間が確保できない現状もある。そのような時間をどのように見出すか、また、謝礼に反映していくか、登録する指導員への説明について検討していく必要があると思う。

○委員

何の種目に何人の指導者が登録されているのか。また、その内、指導員と指導補助員は何人いるのか。

○事務局

現在の種目別の内訳として、ランニングは応募生徒数15名で指導員2名、バスケットボールは16名で6名、ソフトテニス33名で8名、バレーボール35名で4名、ソフトボール5名で5名、バドミントン14名で7名、軟式野球60名で5名、剣道15名で5名、サッカー3名で4名、卓球7名で1名であり、合計では生徒203名、指導員47名であり、47名の内、地域指導者が34名で兼職兼業の教員が13名である。各種目とも随時募集しているため、数は変わってくる。生徒に対する指導員の割り当て等は、状況を見ながら検討していく。

○委員

種目により、必要な道具や物が変わるし、費用も変わる。試行では、その点もよく検討していかなければならない。

○事務局

今年度の試行実践は教育委員会が担当する。会費だけではなく公金を含めて賄っていく。種目ごとに必要な物を聞き取り、精査していく。本格的に実施されることになる時は、種目ごとに受益者負担の額が変わっていくことになると考えている。しかし、今は試行実践であり国の委託金も入ることから、それを活用してどの種目も一律1回500円の参加費を設定して今年度は実施していく。

○委員

指導員の確保が一番大変かと思う。保護者の意見として、今後の教員の採用等には性犯罪歴の照合ということが生じてくる。この問題が必ず出てくると思う。先のことを見越して検討していく必要がある。

○委員

指導員からの指導上の報告や、現場での対応について、どのようになされるのか。種目ごとにどのように報告されるのか。

○事務局

各種目に代表者を設けているので、その方を中心としてローテーションや練習について各指導員と調整して実施していくことになる。

○委員

出勤簿について、種目ごとに代表者を通じて事務局に報告することでよいか。

○事務局

そのようにお願いします。

○委員

要望であるが、指導者同士の顔が分かると、いろいろな意見や話しができる。先日の指導者説明会で有意義な意見が聞けたと思う。今後、指導員の教育活動や啓発活動を考えていただきたい。

○事務局

今年度の試行実践では、指導員は先程質問いただいた出勤簿により、出勤日数を確認して謝金を支払う。生徒の参加費については、事務局から納付書により2か月に1度、生徒の出席を確認し、実績に基づいて後払いにより徴収することとしていく。

指導員等設置規程については、教育委員会が主体となるため規程したものであるが、状況等を勘案して変更や修正していくことも可能であるため、いただいた意見を基に今年度中にも変更が可能のため、規程の表現を含めて検討していく。

○委員

指導員の職務について、練習試合への引率や用具の点検、保護者への連絡等について、指導員は種目の指導に専念できた方がいいのではないか。規程の中に入れてしまわない方がよいのではないか。また、事務局と指導員との連絡はどのようにとるのか。

○事務局

事務局と指導者及び参加生徒は、アプリを利用して登録や連絡を行うことを可能としてある。種目ごとの代表指導員と事務局は実際に話をしたり、電子を利用して打合せをしている。

○委員

用具及び施設の点検と維持管理を行うことについては、大変であると思う。

○事務局

今年度は、市の予算を使って必要な用具は揃えていく。また、活動場所として学校を使わせていただくことになる。最低限のこととして、その管理についてお願いしていくこととしていきたい。

○委員長

指導者には、指導に入るまでの安全管理義務や環境整備、点検などが、当然のこととして求められている。その点では、特段問題ではないと思う。

○委員

試行実施要領の条文中、参加料 1 回当たり 500 円の記載は、変更の可能性がありとおいた方がよいのではないか。種目によって差が出てくると思うので幅を持たせた表現の方がいいのではと思う。

○事務局

今年度は、昨年度までのスポーツクラブでなく行政が予算を執り主体となり、要領通りの金額でやっていく。そのうえで、必要な金額を精査していく。この地域クラブ活動試行実施要領も変えていく必要が生じてくるかもしれない。やる種目によっては、必要な金額が違うことは当然のことと承知しているので、その点を検証していく。

そのことから、参加料を上げる必要が生じた場合は、早い時期から保護者には周知をしてご理解を得ていく。

○委員

昨年度までの試行実践は、前期・後期と分けて実施していたが、今年度は通期で実施していくのか。

○事務局

募集及びチラシについては、前期・後期と出していく予定としている。基本的に随時受付としているため、1 年を通しての実施となる。

検証については、新たに発足を予定している実行部会にて、アンケート等で意見を取りまとめて、10 月から 11 月にかけて取りまとめていきたい。

○委員長

行政主導で実施していくことで、大変な面もあると思う。

試行の段階で生じた問題点を、どう解決していくのかを考えて進めていけばよいと思う。

続いて議題（２）地域クラブ活動 試行実践について、事務局より説明をお願いしたい。

○事務局

資料 2 により説明

地域クラブ活動参加者募集チラシと参考としてバレーボールクラブの実施要項を添付している。今年度の試行実践は、活動場所、活動日時等を各中学校及び種目別指導員と調整して 10 種目の実施を予定している。

参加希望者の募集方法については、4 月 23 日の校長会議で、学校にて募集チラシを、全生徒の一人 1 台端末へデータ送信していただくことをお願いした。チラシに貼付した二次元コードを生徒が読み取ると、種目別実施要項と申込フォームに移

行するので、保護者と相談のうえ希望種目への応募が可能となる。

応募期間は、４月２４日から５月２日に設定したが、ご案内が遅れた学校もあったため、現在も随時応募を受け付けている。

○委員

参加料の支払いについて、教育委員会の定める方法による納付というのは、どのような方法か。

○事務局

事務局から参加生徒に参加回数分の納付書を発送する予定をしている。２か月ごととする予定である。その納付書により、市内の金融機関でお支払いをいただくことになる。

○委員

アプリからの支払いをする方法も、今後に向けて比較検討して考えて欲しい。

○事務局

電子決済についても研究して検討していきたい。

○委員

経費の問題もあるが、事務局が徴収し易い方法でないと長続きしないので、十分に検討して欲しい。

確認したいが、試行をしていくと土日の中学校の部活動と並行してやっていくことになる。中学校の部活動の現状として、土日の取組をどのように考えているのか教えて欲しい。

○委員

第１・３の土日のいずれかで学校施設を使用して、種目の割振り等の調整に取り組んでいることは浸透していると思う。しかし、地域クラブ活動と部活動の関わりや子ども目線で見た運営の仕方までには考えが至っていない。

○委員長

参加費の徴収については、事務局と支払う側の双方が、やり易い方法を検討して欲しい。種目によっても、１回５００円としていくのか、半期でいくらかとしていくのか、納付回数についても、試行をしていくうえで考えていただきたい。

それでは、続いて議題（３）の地域クラブ活動の周知について、事務局より説明をお願いしたい。

○事務局

資料３により説明

運動部活動の地域展開に関する江南市の取り組みや進捗については、これまでも、機会を捉えて児童生徒、保護者に周知を行い、昨年度は中学校入学説明会にて、スライドを用いて説明をする等、ご理解いただきやすいよう、工夫をして周知をして

きた。

今年度は、目標である令和8年2学期からの休日の運動部活動の地域展開に向かう、直近の年度となるため、年度当初に全小中学校の保護者に対して、現段階での教育委員会の考えを分かり易くまとめて、当面の間、江南市が運営主体となり、持続可能な地域クラブ活動を地域全体で推進していくこと。また、令和8年2学期から、休日の学校の運動部活動は実施されないこととお知らせしたいと考えている。

江南市の推進する地域クラブ活動の内容をお知らせするとともに、参加するため、ご家庭での負担が生じることも明確にしていきたいと思います。

今年度、担当課より4月11日付けで「江南市の運動部活動地域展開について」のお知らせとご依頼を「推進計画」を添えて、各小中学校と各学校運営協議会委員に向けて発出し、再度、この取組と目標を教職員間で理解いただくこと、及び地域の方々への周知についてご協力をお願いした。

今後この事業を推進していくためには、行政としてできることを精査、検証していき、各家庭や地域の皆様にご協力いただきながら、連携・協働して持続可能な地域づくりの一環として江南市の地域クラブ活動を推進していくことを考えている。

本格実施までに生じる様々な課題については、今年度、新たに立ち上げを予定している推進委員会、実行部会委員と意見を交換しながら、整理していく。

○委員

予算として、生徒を何人集めて、その生徒に対する指導員を何人見ていくのか等、具体的な数字を出すべきである。

○委員長

今回資料として出された周知文書についてご意見をいただきたい。この文書は、全小中学校保護者宛てに江南市の地域展開について周知していくものである。

○委員

お知らせの文書をもらい、それを見て、是非やろうという行動に結びつく文書であればよいと思う。保護者にはこれまでも、お知らせは行っているので、文書としては、もう十分という気持ちではないか。教育委員会としてこうしていきます、というものより、子どもの登録に支援ください、という意図的なものがあるといいと思う。

○委員

子どもや保護者が目にした時、文書ではなくトピック的に目に入るものとした方がよい。文書は、ほとんど見ていない現状であるため、視覚的に捉えられるものとするよう工夫していただきたい。

○委員長

最新のAIを活用するなどして、表現等の方法を得ていくのも一つである。

○委員

加えてもらいたいのは、大会参加するためには地域クラブ活動に所属しないと出場できない、と書いておいた方がいい。

○委員

保護者宛て文書に要項と申し込み等二次元コードを入れて欲しい。

○事務局

いただいたご意見を検討して修正したいと思う。

○委員

大会への出場については、関連団体等の調整が済んでいないので、方針としてはよいが、決定としてしまうのは誤解が生じる。

○事務局

決定ではないので、その点については情報を収集して、その都度、保護者には周知していく。

○委員長

ご意見ありがとうございました。これで議題としては終わらせていただく。
次のその他について、お願いしたい。

○事務局

委員の皆様には、本日の議事の正確な公表のため、事務局にて調製後、ご確認いただくので、よろしくお願いしたい。

また、委員の任期は本年6月末日までであるが、お集まりいただく委員会は今回が最後となる。これまでの貴重なご意見やご協力に感謝したい。

○委員長

長時間に渡り熱心にご議論をいただき感謝申し上げます。

これをもって、令和7年度第1回江南市運動部活動の地域移行に関する検討委員会を終了する。